

■ 成長にとらわれろ ■

従前の予想を覆して、サッカーW杯でサムライブルーが結果を出している。初戦のコロンビア戦は、香川のPKで先制するも、FKで追いつかれ、最後は大迫の「半端ない」ヘディングシュートで勝ち越した。次戦のセネガル戦は、常に先手を取られる展開にも、乾、本田で2度追いついた。

それにしても、2カ月前の監督交代劇からよくぞここまで組織的なチームに変貌したものだ。攻撃的サッカーを展開するために、各ポジションにボールキープ力が高い選手を配置し、ポゼッションを高めた。1人ひとりが連動しパスが有機的に繋がる。時に、ダブルボランチの1人、長谷部がバックラインまで下がり、両サイドバックがサイドアタックに絡んでいく。次に何が起こるのか、誰がヒーローになるのか、見ていて楽しい。

中でも、本田圭佑が評価を上げている。それもそのはず、初戦では、決勝ゴールをアシスト、2戦目は、引き分けに導く3大会連続となるゴールを決めた。いずれも後半に途中出場して間もなくのことだ。ネット上には「本田△」が出現。これほどの活躍ならば、◎でもいいのと思っていたら、「本田さん、かっけー（かっこいい）」と読むらしい。おしゃれな表現だと感服した。

1年前の6月16日のこと。金沢大学で本田圭佑が特別講義をした。350人収容の講堂は600人の学生ですし詰め。会場外にも800人が列をなした。本田は世界に飛び出すことの意味を語り、「ロシアW杯を選手としての集大成にしたい」と語った。それをいま実現している。

講義の中で忘れられないひと言がある。「失敗は自慢できる。成功にとらわれるな、成長にとらわれろ」。いい言葉だと思う。人は成功者に憧れるが、成功を約束されずとも夢に挑戦し、失敗してもそれを糧に新たな成長へ踏み出していく人生こそ価値があるのではないか。サッカーエリートではなかった彼らしい哲学だ。

学校はいま、1学期期末試験前だ。夜遅くまで試験勉強をしている生徒もいるだろう。挑戦心と這い上がるたくましさ、努力次第で誰にでも成長は可能だ。昨日より今日、今日より明日。本田のプレーに勇気もらって、先の言葉を、明倫生が成長にとらわれる人生を送るためのエールとしよう。そして、深夜に行われるW杯の中継に気を取られつつ、原稿を書く私自身へのエールにも。